



## リサイクル部品2団体、初の合同賀詞交歓会 飛躍誓う懇親の場に

初の合同開催。BESTリサイクラーズアライアンスと日本自動車リサイクル部品協議会（栗原裕之代表理事）は25日、2団体合同の新年賀詞交歓会を都内のホテルで開催した。昨年までは別々に行っていたが、開催日程が近く参加者も共通していることなどを理由に初めて合同で開催。約200人のリサイクル業界関係者らが集まり、今年一年の飛躍を誓う盛大な懇親の場となった。

会の冒頭、清水信夫実行委員長（前代表理事）が「リサイクル業界を取り巻く環境は楽観視できないが、今年度は供給側と需要側の一層の連携が重要になる」と指摘。その上で「協調と競争。同じ方向に向かうための協調と協力、競争においては決してパワーゲームではなく、創意工夫をし切磋琢磨する競争が大事になる」と挨拶した。

会では長年にわたり、日本自動車リサイクル部品

協議会のトップを務め上げた清水前代表理事の功績を称え、栗原代表理事が花束を贈呈。栗原代表理事は「代表理事という立場で業界を支えていただき、ありがとうございました」と謝辞を述べた。併せて、昨年12月に新代表理事に就任したことを改めて報告。「昨年は倒産や廃業が相次ぎ危機感を感じている」との認識を示した上で「我々が一丸となって業界を残していかなければならない。業界あつての団体、個社だと思ふ。業界としてやらなければならないことなどに取り組み業界を絶やさないう、発展できるように頑張っていきたい」と意気込みを語った。

また、会には経済産業省製造産業局自動車課自動車リサイクル室の保坂明室長と、国土交通省自動車局整備課の久手俊彦課長補佐が来賓として出席。保坂室長は「各団体の交流を深め連携を強化し、従来の枠組みを超えた取り組みに期待している」、久手課長補佐は「リサイクル部品の脱着作業についても高度化した技術が必要になっている」と挨拶した。

会では、一枚岩を目指すリサイクル業界を象徴する出来事も起こった。ビッグウェーブ（服部厚司社長、愛知県あま市）がリ協に入会することを決めたことと服部社長自ら公表。リ協は3月の理事会で入会に



挨拶する栗原新代表理事と花束を受け取った清水前代表理事。

ついて話るとし、会場内から大きな拍手がわき起こった。

（日刊自動車新聞2月2日）

## < JARA会員のご紹介 >

### 三森コーポレーション 独自のリプレイス部品好調

三森コーポレーション（大久保弘子社長、仙台市宮城野区）は、昨年秋に解体部門を一時的に休止しリサイクル部品商社として事業展開している。大きな方針転換は、昨年9月15日に急逝した守屋隆之前社長が5年近く熟慮して結論を出したものだ。新体制となり約5カ月が経過したが、リユース部品とリビルト部品に加え、社員の発案で製品化した独自開発のリプレイス部品の販売が好調に推移する。今後は、人員増強を視野に顧客対応力の強化を目指す。

#### ■5年近く考え抜いた上での決断

守屋前社長は、自動車リサイクル部品業界をけん引する立場を30年近く担ってきた。自社経営でも収益に占めるリサイクル部品の売上比率が約8割と、他社とは違う企業経営を続けてきた。大久保社長は「守屋前社長は『相場に左右されない仕事』を常に考えていた」と振り返る。

鉄スクラップ市場は、昨年大きく相場が落ち込んでいたこともあり、解体部門の一時休止は、守屋前社長が考え抜いた上での決断だったようだ。これにより、部品販売に特化した事業への転換に舵を切り、昨年8月末に解体部門を手がけていた扇町工場を閉鎖した。今後、解体部門を復活させる際には、本社で対応していく。

大久保社長は、同社の財務を長年担当してきた。守屋前社長の逝去という悲しみを乗り越え「社員全員が連帯感を持ち、一つの方向へ進んでいる。お世話になった方々から応援の声もいただき、感謝している」と語る。社員が働きやすい環境づくりに積極的に取り組み、女性経営者ならではの視点で経営基盤の強化を図っている。

#### ■顧客の要望に応じたオリジナル部品

同社の特徴の一つは、使用済み車から取り外した部品の損傷箇所を新品部品に交換するリプレイス部品を独自に生産することだ。現在「リプレイスマフラー」「再生プロペラシャフト」「再生ヘッドライト」をラインアップする。リプレイスマフラーを製品化するきっかけは「社員からの提案で、守屋前社長も積極的に支援してくれた」（鈴木学取締役兼統括本部長）と振り返る。リプレイスマフラーは、サビなどで損傷した箇所に新品のパイプマッスターを溶接する。再生プロペラシャフトは、非分解式スパイダーを交換した後にバランス取りを行い出荷する。

低価格と高品質を両立した部品として、顧客からの評価も高い。

リプレイスマフラーと再生プロペラシャフトは「リビルトメーカーが手がけていないから製品化したもので、この分野を拡大しようということはない」（鈴木取締役）と語る。顧客からの問い合わせに応じてラインアップは拡充しているが、リビルトメーカーやリユース部品仕入先のJARAグループ各社と協調していく姿勢は変わらない。

#### ■守屋イズムを継承、さらなる成長へ

三森コーポレーションを舵取りする二人に、今後の経営方針を聞いた。大久保社長は「就職して良かったと言ってもらえる会社になりたい。社員が豊かになれば、社員の家族も豊かになる。そして、会社の発展にもつながる社会貢献に配慮できる社員を育てたい」と将来を見据える。鈴木取締役は「守屋前社長がいつも言っていた『元氣と挨拶』という基本を忠実に守る」と守屋イズムを継承していく。

一方、顧客からの問い合わせに全て応えることができないのが課題となっている。そのため「ニーズに対応できるよう、フロントも営業も社員を増やしたい」（鈴木取締役）と意欲を見せる。新体制の中で、リサイクル部品の利用率拡大に走り続ける社員の姿を、守屋前社長は頼もしく思っているに違いない。同社は、リサイクル部品商社として着実に成長の道を歩んでいる。



オリジナル製品のリプレイスマフラーは高品質と低価格を両立



新体制を担う大久保弘子社長（写真左）と鈴木学取締役（同右）



三森コーポレーション本社外観



再生プロペラシャフトも外注先の協力で製品化



全国の自動車リサイクル関連団体の幹部が集まった



ELV機構の酒井代表理事の発言で会議はスタート

## 連載「第3回 自動車リサイクル・サミット」

### 自動車リサイクル市場の現状と課題

日刊自動車新聞社は3日、都内のホテルで「第3回自動車リサイクル・サミット」を開催した。全国のリサイクル関連団体幹部や行政の担当者ら約40人が参加。自動車リサイクル市場の現状や課題について議論し情報を共有、今後の業界活性化に向けての意見交換を行った。使用済み自動車（ELV）の発生減や廃車流通経路の変化、資源価格の低迷などリサイクル業界を取り巻く環境は厳しさを増している。昨年来、一枚岩の業界を目指す動きが胎動し始めた中で、解体、流通というグループの枠を超えて関係者が一堂に会したリサイクル・サミットの様子を、今後3回に分けて報告する。

本日にこたえている。会議の口火を切った日本ELVリサイクル機構（ELV機構）の酒井康雄代表理事のこの言葉が、自動車リサイクル業界の現状を如実に物語っている。新車需要の減退や中古車輸出の増加に伴うELVの発生減、スクラップ相場の低迷、ELV仕入れ価格の高止まり、部品輸送費の高騰など、リサイクル業界を取り巻く苦境は枚挙に暇がない。「市場動向や経営状況は勉強会などでの会員の顔色を見ればわかる」（日本パーツ協会の早川一二会長）ほどの状況だ。

#### ■相場は相場。それ以上に...

特に大きな問題となっているのが廃車仕入れの減少だ。スクラップ相場の低迷もリサイクル関連事業者の収益圧迫要因であるものの、部品流通団体で組織する日本自動車リサイクル部品協議会（リ協）の栗原裕之代表理事は「市況の変動は過去からあるもの。我々はその影響を受けないように取り組んできた。直接的な影響はないがELVが集めづらい状況は大きな課題」と指摘する。

また、リ協への入会を決めたビッグウェーブの服部厚司社長も「相場はあくまで相場。上下動があるのは当然だ。相場で一喜一憂するのではなく部品を売って流通させての商売」とした上で、



真剣な面持ちで話を聞くARNの岡田代表理事

「いまの事業者は国内部品、貿易、スクラップの三本柱で経営が成り立っているが、ここに来て仕入れ部分でELVの発生減の影響が出ている」と見ている。

さらに東日本自動車解体処理協同組合の坪千代志理事長も「相場が悪いというのが昔から繰り返されていること。今回のスクラップ相場の低迷も若干は影響があるだろうが、売れるものを取っている状況なので極端に慌てている状況でもない」と冷静に分析する。

#### ■仕入れ価格の高止まり

システムオートパーツの土居英幸社長が示唆するように「スクラップ相場は過去から繰り返してきたことで今後も予想しづらい」のが実情。ただ「ここ数年で廃車の流れが大きく変わり、中古車オークション（AA）に車が流れている。そこから仕入れないと需要のある部品取り車も確保できない、つまりビジネスができない」状況となっている。

部友会の鳩村昭二郎代表理事は「仕入れ価格はAAも関係し高くなっている。競争して買わないといけない状況だ。部品が取れる車両が高いならまだいいが、ELVに近いクルマまで高いので厳しくなっている」、テクルスネットワークの針ヶ谷昌之代表も「スクラップ相場が下がって仕入れ値も下がればいいのだが、仕入れ値が下がらず台数が減っている。結果、競争が激化し、価格が暴騰している状況が問題だ」と指摘する。

こうした環境は乗用車に限ったことではなくトラックも同様。トラック向けの中古部品を取り扱う日本トラックリファインパーツ協会（JTP）の宮本真希代表理事は「会員47社の数字を見るとここ1年間の実績は堅調だ。しかしELVの確保や地域格差は出てきている。表向きの数字はいいが中身は厳しい状況」であることを明かす。

一方で、JARAの北島宗尚社長は「合併3年目の効果が出ている」と強調した。部品販売は二つのシステムとも伸びており、車両仕入れについても豊田通商の協力もあり好調に推移しているという。

#### ■足元での取り組み

エス・エス・ジーの工藤浩司取締役が指摘するように「今後は保有台数の縮小や事故の減少などにより仕入れはますます厳しくなる」のは間違いない。先行き不透明感が漂う中で各団体は足元ではどのような事業を展開しているのだろうか。



今回はリサイクル部品を使用する側も参加した。日整連の伊藤事務局長（右）

## CO2削減数値（JARAシステム）

リユースパーツ使用によるCO2削減効果参考値  
平成29年1月

3,137t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方に基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。



地域部品商もメンバーに加わるARNの岡田代表理事は「メンバー交流の中ではアフターマーケット全体を見ようという勉強会をやっている。リユースだけでなくリビルト、新品も扱うようにとらえていかなければならない」と見ている。テクルスネットワークの針ヶ谷昌之代表は「業者としてはどう1台の付加価値をつけるかが最大のテーマ。付加価値＝売り上げ＝収益をどう上げていくか。その取り組みで企業の経営状況をよくするしかない」と強調した。

トータルカーリサイクルグループの石上剛副会長は「足元で採算がとれるかどうかは別にして、次の挑戦に向けての投資を探しながら会員と情報交換している」、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の佐藤幸雄理事長は「組合員の経営状況をどう安定させるかが課題。組合として施策を打たないといけない。そのためにも他団体とも協力できる部分は互いに協調しながら歩を進めていかなければならない」と見ている。

また、自動車リサイクルのNPO法人であるRUMアライアンスの近藤典彦代表理事は「厳しい現況下でどう生き残るか。精緻な解体を行い多くの部品を取ることで市況に左右されないビジネスに変えていく」ことが重要と説いた。

#### ■リサイクル部品の使用は増えている

第3回を迎えたリサイクルサミットではリサイクル部品を使用する側の業界団体も会議に出席していただいた。需要家側のコメントからは需要拡大の様子がうかがい知れ、日本自動車車体整備協同組合連合会の山元康史副会長は「自動車保険の料率改訂で保険を使わず自費修理するユーザーが増えており、リサイクル部品の活用は増えている」と指摘。日本自動車整備振興会連合会の伊藤正信事務局長も「整備業界も保険料率の見直しの関係でリサイクル部品の使用は増えているのではないか。また、事業用車両はクルマを長く使う新品よりリサイクル部品を利用する傾向がある。リサイクル業界とはますます協力しなければならぬ」と期待を寄せた。

（日刊自動車新聞2月9日）

**KOBELCO**

**We Save You Fuel**  
Achieving a Low-Carbon Society

# コベルコが提案する 新しい考え方

## マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体およびさまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。

## 自動車解体機

使用済み自動車に含まれる素材の分別作業がスピーディーに行えて希少金属資源の回収が可能です。



SK135SRD



SK210D

コベルコ建機株式会社  
www.kobelco-kenki.co.jp/

For Japan

# 新构想源于神钢

## 多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以拆除废家电等金属制机器以及各种复合废弃物品的拆除、分类作业。

SK210D



## 汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，能够回收稀金属资源。

SK210D



成都神钢工程机械(集团)有限公司  
www.kobelco-jianji.com/

For China

# 新构想源于神钢

## 多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以拆除废家电等金属制机器，以及进行各种复合废弃物品的拆除、分类作业。

SK200



## 汽车拆除机

可快速进行报废汽车内部素材的分类作业，得以回收稀有金属资源。

SK200



FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD.  
www.ffg-tw.com/

For Taiwan

# 새로운 발상은 KOBELCO에서

## 멀티 해체기

용도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의 해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR

(주)삼정건설기계  
www.samjung-kenki.co.kr/

For Korea

# New ideas come from KOBELCO

## Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.

SK210D



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.  
www.kobelco-usa.com/

For North America

# New ideas come from KOBELCO

## Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.



SK135SRD

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY AUSTRALIA PTY LTD  
www.kobelco.com.au/

For Australia

# New ideas come from KOBELCO

## Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.

SK210D



## Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently separates and sorts raw materials in end-of-life vehicles and is able to recover rare earth metals.

SK210D



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.  
www.kobelco-europe.com/

For Europe